

2022年(令和4年)2月27日(日曜日)

思い出の学びや巣立つ



万感の思いを込めて「正解」(ラッドウィンプス)を歌う海星学院高の卒業生

室蘭市内の私立高校、北海道大谷室蘭高校(八丁平、竹本将人校長)と海星学院高校(高砂町、堺俊光校長)で26日、卒業式が開かれた。両校とも新型コロナウイルス

感染症予防対策を実施しながら、思い出の学びやを巣立つ卒業生を送り出した。道立高校の卒業式は3月1日に行われる。

(奥野浩章)

海星学院高校

海星学院高はベネディクトホールで第59回卒業式を行った。卒業生57人は伝統の黒いガウンと角帽を身にまとい、堺校長から一人一人卒業証書を受け取った。堺校長は「『大変革の中で生きる』ことを主眼に新しいことに挑戦し、試行錯誤しつつ人生の選択を繰り返し、新しい発想を兼ね備えた人間になってほしい」と卒業生に呼び掛けた。卒業生で前生徒会長の森田海輝さんが同級生に「この学びやで一緒に学んできた私たちは、一生の間です。みんなに出会えたことに感謝。幸せな3年間をありがとう」と述べた。

同校では、在校生の出席を見送り、卒業生の保護者も2人までと制限した。式後、担任教諭が保護者に対し、「59回生は宿泊研修の施設の方、修学旅行の旅行会社の方、大学・専門学校の方など、さまざまな方からお褒めの言葉をいただいた」とたたえた。